



心に種をまく

先生 「総合的な学習の時間」に行った、「自分が県知事になったら沖縄の課題をどう解決するか」をテーマとした4時間の探究活動は、先生にとって新しい試みでした。みんなにとってはどんな授業でしたか？

生徒 授業では1つの課題について深く調べましたが、その原因がほかの課題と絡み合っていると分かり、物事を表面的にしか捉えていなかった自分に気づきました。その後は、寮にある新聞に目を通し、気になる記事は2紙を読み比べるようになりました。

生徒 心に残っているのは、在日米軍基地に関する発表です。本当に大きな課題なのでクラス中が戸惑っていたけれど、友人の切実な声を聞いて自分事として考えられるようになったし、発表後の質疑応答を通じて、住む地域によって関心度が違うことに驚きました。

先生 本校には県全域から生徒が入学して来るから、地元の人でなければ分からないことを教え合うことで、県としての課題を多様な視野から見られて、さらに深く考える機会になったよね。

生徒 私たちの班では、雇用や貧困、肥満、環境保護など9つもの課題が挙がりました。たくさんの課題が

あるのはなぜかと話し合っていくうちに、根本的な要因として学力の課題にたどり着きました。そうならば、私たちにできるのは、自ら努力して学力を上げ、県の教育をも変えていくことだという結論になりました。

生徒 私も教育に対する関心が高まり、海外の教育について知りたいと考え、学校教育が先進的だと聞いたオランダに留学することにしました。留学にあたって応募書類を書く時には、先生の授業で学んだ思考ツールを活用しました。言いたいことを全部付箋に書いてから内容や優先度で分類すると、考えをすっきり整理でき、留学への思いが明確に伝わる文章を書けたと思います。高校入学時から目指していた留学なので、8月から1年間、いろいろ学べます！

生徒 留学や進学、就職などで一度は県を出ることになると思うけれど、いろいろな経験を積み重ねて、大きく成長して、また沖縄に戻って来たいです。

先生 一人ひとりのそうした思いが、時間がかかっても課題解決に結びつくのだと信じています。授業がみんなの大きな成長につながっていると分かり、また新たな挑戦をする勇気が出てきたよ！

長島 誠先生 教職歴14年。同校に赴任して7年目。進路指導部。総合的な学習の時間担当。

沖縄県立向陽高校 全日制／普通科・国際文科・理数科／共学／1学年約240人／2017年度入試合格実績（現役のみ）国公立大は、東北大、名古屋大、琉球大などに119人が合格。私立大は、早稲田大、関西学院大、沖縄国際大などに延べ109人が合格。